

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	交通安全啓発事業				事務事業コード	20300100
概要	交通安全意識の啓発					
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課	
	施策	30	交通安全の推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	なし					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市民及び在勤在学者					
事業目標	様々な交通安全のイベントを実施することにより、市民に広く交通安全意識を啓発・普及させ、市民及び在勤在学者が、安全な生活を営むことができるようにする。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児への幼児交通安全教室 ・中学生に向けたスクエアード・ストレイト ・その他各種交通安全啓発事業 ・交通安全普及活動を行う府中交通安全協会に対する補助金交付 ・交通災害共済の加入促進及び見舞金支払 ・交通安全対策審議会運営業務 					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)								
① 幼児交通安全教室の開催件数	42	計画値	43	44	45	46	46	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	47	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	ウィズコロナが進む中、徐々に教室の開催件数も戻ってきているとともに、初めて開催した保育園もあったことから、想定よりも上回ることができた。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	14,714,000	25,974,000	14,788,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	55,000	55,000	50,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	8,800,000	0	0	0	0
一般財源	14,659,000	17,119,000	14,738,000	0	0	0
予算現額	14,519,000	25,974,000	0	0	0	0
決算額	13,762,544	24,303,346	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	66,000	46,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	8,500,000	0	0	0	0
一般財源	13,696,544	15,757,346	0	0	0	0
執行率	94.8%	93.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.84	2.25				
職員人件費	6,610,618	17,998,472				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	115,463	353,952				
総コスト	20,488,625	42,655,770	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全表彰式 参加33人 スケアード・ストレイト (年4回) 参加2250人 幼児交通安全教室 参加2227人 交通安全作文コンクール 応募440件 新入学児童交通安全用品配布 府中交通安全協会への補助金交付 高齢者運転免許証自主返納支援事業 件数500件 	新型コロナウイルス感染状況により、中止となる事業や実施形態が制限される事業があったが、各種啓発事業及び交通安全用品配布、補助金交付を継続して実施したことで、市民の交通安全意識の普及、向上に努めた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全表彰式 交通安全パレード 交通安全ポスターコンクール 新入学児童交通安全用品配布 府中交通安全協会への補助金交付 高齢者運転免許証自主返納支援事業 	スケアード・ストレイト ・幼児・高齢者交通安全教室	
引き続き各種啓発事業及び交通安全用品配布、関係団体への補助金を交付することで、市民の交通安全意識の普及、向上に努めていく。また、市内では自転車に関与する交通事故割合が多いことから、自転車を利用する方へ安全な交通ルールの周知に努める。		

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全表彰式 参加27人 スケアード・ストレイト (年4回) 参加2210人 幼児交通安全教室 参加 3476人 交通安全ポスターコンクール 応募143件 新入学児童交通安全用品配布 府中交通安全協会への補助金交付 高齢者運転免許証自主返納支援事業 件数600件 小学生・高齢者自転車競技大会 	新型コロナウイルス感染症の状況をみながら徐々にイベント事業等を再開し、各種啓発事業及び交通安全用品配布、補助金交付を実施することで、市民の交通安全意識の普及、向上に努めた。また、各種啓発事業については、府中警察署や府中交通安全協会と引き続き協働で実施した。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全表彰式 交通安全パレード 交通安全ポスターコンクール 新入学児童交通安全用品配布 府中交通安全協会への補助金交付 高齢者運転免許証自主返納支援事業 小学生・高齢者自転車競技大会 	スケアード・ストレイト ・幼児交通安全教室 ・高齢者交通安全教室	
引き続き各種啓発事業及び交通安全用品配布、関係団体への補助金を交付することで、市民の交通安全意識の普及、向上に努めていく。また、道交法の改正により自転車のヘルメット着用が努力義務化することなど、状況に応じた対策を適切に実施していく。		

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続		B
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1	
C 見直して継続		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	40	0163010	交通安全対策審議会運営費	978,000	716,355	187,000
2	01	10	05	40	0164000	交通安全啓発事業費	4,654,000	4,447,746	4,650,000
3	01	10	05	40	0167600	交通安全計画策定費	7,749,000	7,752,800	
4	01	10	05	40	0167700	交通安全指導車両購入費	2,500,000	1,947,000	
5	01	10	05	40	0175000	負担金 東京都市町村民交通災害共済掛金	8,102,000	7,448,500	7,960,000
6	01	10	05	40	0176000	補助金 交通安全運動事業費	1,991,000	1,990,945	1,991,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							25,974,000	24,303,346	14,788,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	道路交通環境円滑化推進事業			事務事業コード	20300200
概要	市内交通量調査、競馬競艇開催時における交通事故及び交通公害の排除				
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課
	施策	30	交通安全の推進	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～
見直しの裁量	市に事業を見直す裁量はない				
根拠法令等	府中市競馬競艇開催時における交通安全条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	市内交通量調査：市内全域 競馬競艇事業施行者、来場者及び駐車場設置者				
事業目標	交通量調査を行い、日・月曜日の2日間の交通状況変動に関する資料を得る。競馬競艇開催時の道路交通の円滑化を図るとともに、市民の健康で安全かつ快適な生活環境を確保する。				
事業内容	<p>【市内交通量調査（隔年実施）】 市内各地点の交差点において、交通量を把握することで、渋滞等の緩和を図るためのデータを収集し活用する。</p> <p>【住宅環境区】 競馬・競艇開催時において、交通量の増加に伴い地域住民の良好な居住環境を保全するため、住宅環境区に指定した地域（小柳町1箇所）における環境整備を行う。また、近年に事例はないが、地域住民の意思によって住宅環境区の指定の申出があった場合には、府中市交通安全対策審議会に諮問する。 また、住宅環境区内における駐車場の設置にあたっては、府中市駐車場対策審議会において、その適否を調査及び審議する。</p>				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	20,000	6,008,000	20,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,000	1,000	1,000	0	0	0
一般財源	19,000	6,007,000	19,000	0	0	0
予算現額	20,000	6,008,000	0	0	0	0
決算額	19,800	4,122,800	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	19,800	4,122,800	0	0	0	0
執行率	99.0%	68.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.56	0.56				
職員人件費	4,407,079	4,499,618				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	76,975	88,485				
総コスト	4,503,854	8,710,903	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼住宅環境区内における車両に対する交通啓発看板の設置	▼これまでの調査結果を踏まえ、必要な交通環境整備を行った。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼市内31地点における交通量調査の実施 ▼住宅環境区内における車両に対する交通啓発看板の設置	▼市内31地点における交通量調査の実施 ▼住宅環境区内における車両に対する交通啓発看板の設置

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼市内31地点における交通量調査の実施 ▼住宅環境区内における車両に対する交通啓発看板の設置	▼計画どおりの地点で交通量調査を実施した。 ▼これまでの調査結果を踏まえ、必要な交通環境整備を行った。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼住宅環境区内における車両に対する交通啓発看板の設置	▼住宅環境区内における車両に対する交通啓発看板の設置

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続		B
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	1
	1 休止 2 廃止	
	3 完了	

円滑な交通環境を確保するため、交通状況を把握する必要がある。また競馬競艇開催時の道路交通の円滑化を図る目的から今後も引き続き事業を継続する必要がある。

6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	05	40	0165000	競馬競艇開催時交通対策費	20,000	19,800	20,000
2	01	10	05	40	0167000	交通量調査費	5,988,000	4,103,000	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							6,008,000	4,122,800	20,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	駅周辺自転車対策事業				事務事業コード	20300300
概要	駅周辺の自転車駐車場整備や放置自転車の対策					
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課	
	施策	30	交通安全の推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等	府中市自転車の放置防止に関する条例、府中市立自転車駐車場条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	自転車利用者、市の自転車対策に係る施策					
事業目標	自転車の放置を防止することにより、市民の良好な生活環境を確保する。					
事業内容	<p>【自転車の放置防止】 自転車利用者を自転車駐車場に誘導するとともに、放置された自転車の撤去、保管、返還を行う。</p> <p>【駅周辺自転車利用台数調査】 自転車の乗入台数を調査し、適切な収容台数を検討する。</p> <p>【自転車対策審議会】 自転車放置禁止区域の指定、変更、廃止について、審議を行う。</p>					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)							
① 自転車放置台数	123	計画値	90	80	70	60								
	台	実績	78	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
要因の具体的内容	放置台数は概ね減少傾向にあると考えられるが、今後の調査結果を注視していく。													
要因の具体的内容		計画値					要因の類型(※)							
		実績					1	2	3	4	5	6	7	8

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	77,598,000	80,136,000	72,138,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	4,602,000	3,392,000	2,982,000	0	0	0
一般財源	72,996,000	76,744,000	69,156,000	0	0	0
予算現額	76,880,000	80,237,000	0	0	0	0
決算額	74,365,477	75,377,526	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	2,747,099	3,026,999	0	0	0	0
一般財源	71,618,378	72,350,527	0	0	0	0
執行率	96.7%	93.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.97	1.97				
職員人件費	15,424,776	15,748,663				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	269,424	309,702				
総コスト	90,059,677	91,435,891	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼自転車駐車場及び駅周辺環境整備 ▼自転車撤去・搬送業務 ▼自転車保管所管理業務 ▼駅周辺自転車駐車場台数調査 	<ul style="list-style-type: none"> ▼駅周辺自転車駐車場台数調査を例年どおり実施し、自転車駐車場利用状況及び放置自転車の状況を把握した。 	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼自転車駐車場及び駅周辺環境整備 ▼自転車撤去・搬送業務 ▼自転車保管所管理業務 ▼駅周辺自転車駐車場台数調査 ▼自転車対策審議会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ▼駅周辺自転車駐車場台数調査を例年どおり実施する。 ▼競艇場前駅の無料自転車駐車場を拡張し、自転車放置禁止区域に指定する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼自転車駐車場及び駅周辺環境整備 ▼自転車撤去・搬送業務 ▼自転車保管所管理業務 ▼駅周辺自転車駐車場台数調査 ▼自転車対策審議会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ▼駅周辺自転車駐車場台数調査を例年どおり実施し、自転車駐車場利用状況及び放置自転車の状況を把握した。 ▼競艇場前駅の無料自転車駐車場を拡張し、自転車放置禁止区域に指定した。 	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼自転車駐車場及び駅周辺環境整備 ▼自転車撤去・搬送業務 ▼自転車保管所管理業務 ▼駅周辺自転車駐車場台数調査 	<ul style="list-style-type: none"> ▼駅周辺自転車駐車場台数調査を例年どおり実施する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性						
A 重点化・拡大して継続	B	自転車対策については継続的な事業続行が必要になる。						
B 現状のまま継続								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> </table>			1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	3	現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)
1			大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)					
2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)							
3	現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)							
C 見直して継続								
D 休止・廃止等	1							

(単位:円)

6 構成事業一覧

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	05	40	0163020	自転車対策審議会運営費	198,000	77,000	
2	01	10	05	40	0166000	駅周辺自転車対策費	75,938,000	71,670,526	72,138,000
3	01	10	05	40	0181900	自転車駐車場整備事業費 拡張工事費	4,000,000	3,630,000	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30						合 計	80,136,000	75,377,526	72,138,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市営駐車場管理運営事業				事務事業コード	20300400
概要	市営駐車場の管理運営を行うとともに、施設が属するフォレストサイドビル共用部分の修繕費を負担する。					
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課	
	施策	30	交通安全の推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成8年度～	見直しの裁量	市に事業を見直す裁量はない
根拠法令等	府中市営駐車場条例					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市営駐車場及び施設が属するフォレストサイドビルの共用部分					
事業目標	市営駐車場の管理運営を行うとともに、施設が属するフォレストサイドビル共用部分の修繕に適切に対応する。					
事業内容	株式会社府中駐車場管理公社を指定管理者として管理運営を行うとともに、施設の改修、修繕を行う。また、施設が属するフォレストサイドビル共用部分の修繕費を負担する。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の種類(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の種類(※)							

- (※) 要因の種類
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	4,538,000	33,451,000	8,199,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,260,000	13,000,000	2,190,000	0	0	0
一般財源	3,278,000	20,451,000	6,009,000	0	0	0
予算現額	4,538,000	33,451,000	0	0	0	0
決算額	2,951,786	19,141,728	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	915,200	14,058,000	0	0	0	0
一般財源	2,036,586	5,083,728	0	0	0	0
執行率	65.0%	57.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.13	1.13				
職員人件費	8,814,158	8,999,236				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	153,951	176,973				
総コスト	11,919,895	28,317,937	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼フォレストサイドビル管理会長期修繕計画 自火報、誘導灯、非常放送、非常照明法定配置工事、スプリンクラー法定基準工事、地下1階排煙ダクト一部撤去工事 ※ミッテン府中の工事計画変更による、令和2年度からの追加工事 ▼府中駅南口市営駐車場内修繕 火災報知設備の更新、消火器の交換	▼フォレストサイドビル管理会長期修繕計画に基づく施設修繕費の負担を行い、利用者が安全に利用できるための維持修繕を行った。 ▼府中駅南口市営駐車場内の維持管理のために必要な修繕を行った。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼修繕の実施	▼フォレストサイドビル管理会長期修繕計画 シャッター危害防止装置取付け、開閉器更新、空冷パッケージエアコン更新 他 ▼府中駅南口市営駐車場内修繕 車室区画、歩道及び縁石等、場内再塗装工事

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼フォレストサイドビル管理会長期修繕計画 外壁打診検査、防災盤・非常放送盤等バッテリー交換、自家発空気圧縮機分解整備、中水設備修理 他 ▼府中駅南口市営駐車場内修繕 車室区画、歩道及び縁石等、場内再塗装工事	▼フォレストサイドビル管理会長期修繕計画 計画に基づき施設修繕費の負担を行い、利用者が安全に利用できるための維持修繕を行った。 ▼計画通りに府中駅南口市営駐車場内の修繕を行った。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼修繕の実施	▼フォレストサイドビル管理会長期修繕計画 自家発制御盤VCB交換、B3F電気室低圧盤LBS交換 他 ▼府中駅南口市営駐車場内修繕 防排煙制御設備修繕

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	市営駐車場の管理運営を行うとともに、施設が属するフォレストサイドビル共用部分の修繕に適切に対応するために、今後も引き続き事業を継続する必要がある。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1	
C 見直して継続		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	40	0175500	負担金 フォレストサイドビル施設修繕費	19,351,000	5,083,728	6,009,000
2	01	10	05	40	0195100	府中駅南口市営駐車場管理運営費 諸経費			2,190,000
3	01	10	05	40	0195310	府中駅南口市営駐車場整備事業費 塗装工事費	14,100,000	14,058,000	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							33,451,000	19,141,728	8,199,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	交通安全施設維持管理事業				事務事業コード	20300500
概要	道路区画線、街路灯、道路反射鏡等の交通安全施設の設置及び維持管理					
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	都市整備部 道路課	
	施策	30	交通安全の推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～	
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり					
根拠法令等						
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市内全域の交通安全施設					
事業目標	交通安全施設を適切に維持管理を行い、安全で円滑な交通環境を確保する。					
事業内容	市民が安心して通行できるよう、交通安全灯、道路反射鏡、道路区画線、自転車ナビマーク、路面カラー舗装、交差点等注意点減器、主要地点標識を設置し、維持管理を行う。 交通安全灯については、民間活力を活用したE S C O事業により、修理等の維持管理を行う。また、市の工事などにより新たに設置された交通安全灯についてもE S C O事業で行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	153,586,000	164,404,000	213,503,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	25,000,000	112,000,000	0	0	0
一般財源	153,586,000	139,404,000	101,503,000	0	0	0
予算現額	153,586,000	184,126,000	0	0	0	0
決算額	146,175,434	176,150,779	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	27,200	24,000,000	0	0	0	0
一般財源	146,148,234	152,150,779	0	0	0	0
執行率	95.2%	95.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.57	0.78				
職員人件費	4,457,735	6,221,694				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	364,016	473,053				
総コスト	150,997,185	182,845,526	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>【維持管理】道路反射鏡点検清掃135件、道路反射鏡修理20件、灯柱腐食点検2902基、道路区画線 m、自転車ナビマーク 路線 基</p> <p>【施設整備】道路反射鏡設置8基、T・十字路カラー舗装 m²、通学路等カラー舗装 m²、交差点注意点減器 基、交差点地点名表示板設置 基</p>	交通安全施設の維持管理を行った。 E S C O事業による交通安全灯の適切な維持管理を行った。 大型照明灯の灯柱老朽化対策を進めた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
道路反射鏡の設置及び維持管理を行っていく。 E S C O事業によるLED化された交通安全灯の維持管理を行う。 大型照明灯の灯柱腐食調査を行う。	引き続き交通安全施設の維持管理を行っていく。 E S C O事業による交通安全灯の適切な維持管理を行う。 大型照明灯の老朽化対策を進める。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>【維持管理】道路反射鏡点検清掃1016件、道路反射鏡修理172件、交通安全灯修理33件、灯柱腐食点検150基、灯柱取り替え工事10基、道路区画線18469.5m、自転車ナビマーク4路線147基</p> <p>【施設整備】道路反射鏡設置8基、T・十字路カラー舗装80.2m²、通学路等カラー舗装287.4m²、交差点注意点減器8基、交差点地点名表示板設置2基</p>	交通安全施設の維持管理を行った。 E S C O事業による交通安全灯の適切な維持管理を行った。 大型照明灯の灯柱老朽化対策を進めた。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
道路反射鏡の設置及び維持管理を行っていく。 E S C O事業によるLED化された交通安全灯の維持管理を行う。 大型照明灯の灯柱腐食調査及び灯柱の取り替え工事を行う。	引き続き交通安全施設の維持管理を行っていく。 E S C O事業による交通安全灯の適切な維持管理を行う。 大型照明灯の老朽化対策を進める。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続		街路灯について、維持管理は、E S C O事業で進めているが、灯柱の腐食などの老朽化対策として施設の更新等を進める必要がある。 E S C O事業における維持管理について、事業者との調整により適切な維持管理に努め、E S C O事業の評価や課題を検証し、委託契約完了後の施設整備と維持管理のあり方を検討するとともに、倒壊した際に、通行に大きな支障となる大型照明灯について、予防保全と老朽化対策を進める必要がある。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	B	
C 見直して継続		1
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

R 4年度	R 5年度	R 4年度 当初予算額	R 4年度 決算額	R 5年度 当初予算額	事業 コード	予算事業名	目	項	款	会計			
1	01	10	05	40	0168000	交通安全施設管理費 管理委託料					15,206,000	14,973,744	15,085,000
2	01	10	05	40	0168810	道路等包括管理(交通安全施設)事業費(債務負担行為解消分)					3,856,000	3,855,987	3,856,000
3	01	10	05	40	0169000	交通安全施設管理費 光熱水費					29,741,000	47,715,203	57,567,000
4	01	10	05	40	0169100	交通安全施設管理費 光熱水費					43,000	55,340	59,000
5	01	10	05	40	0170000	交通安全施設管理費 諸経費					901,000	788,581	629,000
6	01	10	05	40	0183100	交通安全施設整備事業費 調査委託料					13,000,000	12,541,100	16,800,000
7	01	10	05	40	0183500	交通安全施設整備事業費 道路安全施設工事費					16,250,000	12,641,504	32,400,000
8	01	10	05	40	0187500	交通安全灯LED化整備等事業費 設置等委託費(債務負担行為解消分)					75,407,000	75,406,320	75,407,000
9	01	10	05	40	0195500	交通安全施設整備事業費 路面標示等工事費					9,000,000	8,173,000	10,700,000
10	01	10	05	40	0196000	交通安全施設整備事業費 緊急整備工事費					1,000,000	0	1,000,000
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
合 計							164,404,000	176,150,779	213,503,000				

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	自転車駐車場管理運営事業			事務事業コード	20300600
概要	自転車駐車場の維持管理及び運営				
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課
	施策	30	交通安全の推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	府中市自転車駐車場条例、府中市自転車駐車場利用料助成規則				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	自転車利用者				
事業目標	自転車駐車場の適正な維持管理及び運営を通じて、良好な生活環境を確保するとともに、利用料の助成を行うことで福祉の向上を図る。				
事業内容	【自転車駐車場の管理運営】 自転車駐車場の業務運営、施設修繕及び設備改修を行う。				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の類型(※)							

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	89,097,000	89,343,000	91,560,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	58,484,000	56,031,000	61,711,000	0	0	0
一般財源	30,613,000	33,312,000	29,849,000	0	0	0
予算現額	90,216,000	92,769,000	0	0	0	0
決算額	89,371,611	89,898,676	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	57,915,000	62,877,350	0	0	0	0
一般財源	31,456,611	27,021,326	0	0	0	0
執行率	99.1%	96.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.84	0.84				
職員人件費	6,610,618	6,749,427				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	115,463	132,729				
総コスト	96,097,692	96,780,832	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼自転車駐車場の業務運営を行うとともに、各設備の保守・点検を行い、適切な施設管理を行った。また、老朽化している施設や動作不良に対する適切な修繕を行った。	▼府中駅南自転車駐車場における自転車搬送コンベアや東府中駅南自転車駐車場における照明の絶縁不良など利用者に影響の大きい部分について迅速かつ適切に修繕を行った。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
▼自転車駐車場の業務運営を行うとともに、各設備の保守・点検適切な施設管理を行う。また、老朽化している施設について、必要な修繕を行う。	▼自転車駐車場の適正な維持管理及び運営を通じて、良好な生活環境を確保する。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼自転車駐車場の業務運営を行うとともに、各設備の保守・点検を行い、適切な施設管理を行った。また、老朽化している施設や動作不良に対する適切な修繕を行った。	▼府中駅南自転車駐車場における自転車搬送コンベアや東府中駅南自転車駐車場のトイレなど利用者に影響の大きい部分について迅速かつ適切に修繕を行った。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
▼自転車駐車場の業務運営を行うとともに、各設備の保守・点検適切な施設管理を行う。また、老朽化している施設について、必要な修繕を行う。	▼自転車駐車場の適正な維持管理及び運営を通じて、良好な生活環境を確保する。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	安全かつ利用しやすい自転車駐車場のため、引き続き施設修繕や利便性の向上について検討を行っていく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)		
2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)		
3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1	
C 見直して継続		1 見直し・縮小
		2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止等		1 休止
		2 廃止
		3 完了

(単位:円)

6 構成事業一覧

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	40	0171000	自転車駐車場管理運営費 業務運営委託料	56,940,000	56,939,375	57,098,000
2	01	10	05	40	0172000	自転車駐車場管理運営費 管理委託料	11,113,000	9,489,669	9,299,000
3	01	10	05	40	0173000	自転車駐車場管理運営費 光熱水費	4,756,000	7,321,895	9,179,000
4	01	10	05	40	0174000	自転車駐車場管理運営費 諸経費	1,801,000	1,771,377	1,330,000
5	01	10	05	40	0175600	負担金 ル・シーニュ管理組合	13,153,000	13,152,360	13,153,000
6	01	10	05	40	0177000	補助金 自転車駐車場利用料助成事業費	1,580,000	1,224,000	1,501,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							89,343,000	89,898,676	91,560,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	防犯意識啓発事業			事務事業コード	20310100
概要	防犯意識の啓発				
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課
	施策	31	地域安全の推進	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	～
見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり				
根拠法令等	府中市市民生活の安全確保に関する条例				
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称	
対象	市民				
事業目標	市民の防犯意識の高揚、自主的な防犯活動を促し、市民・事業者・関係団体等との連携による活動を支援することで、市民が安心して暮らせる犯罪が少ないまちにする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯に係る広報啓発活動 ・地域安全パトロール支援 ・特殊詐欺対策 ・メール配信サービスによる防犯情報等の提供 ・防犯普及活動を行う府中防犯協会に対する補助金交付 				

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の類型(※)								
① 府中市メール配信サービスの配信件数	56	計画値	60	65	70	75	75	1	2	3	4	5	6	7	8
	件	実績	126	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	警察からの特殊詐欺のアポ電の情報の配信回数が増加したため														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

- (※) 要因の類型
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	4,705,000	4,019,000	5,058,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	529,000	732,000	665,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,176,000	3,287,000	4,393,000	0	0	0
予算現額	4,705,000	4,019,000	0	0	0	0
決算額	3,760,252	3,825,404	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	408,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,352,252	3,825,404	0	0	0	0
執行率	79.9%	95.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.84	0.84				
職員人件費	6,610,618	6,749,427				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	115,463	132,729				
総コスト	10,486,333	10,707,560	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロールの支援 ・メール配信サービスを活用した防犯情報の提供 ・詐欺被害防止のため自動通話録音機貸与 ・府中防犯協会に対し補助金を交付 ・ちゅうバスラッピングによる詐欺被害防止の広報啓発 ・日めくりカレンダーを活用した特殊詐欺被害防止対策 	<p>防犯対策として、メール配信サービスによる防犯情報の提供や、自治会等が行う地域安全パトロールを支援するために、防犯グッズを提供した。また、防犯活動を行う府中防犯協会に対し、補助を行った。</p> <p>特殊詐欺対策としては、府中警察署と連携し、自動通話録音機380台の貸与や、ラッピングバスの継続運航、毎月市内の被害状況を各文化センターや掲示板、デジタルサイネージに掲示し注意喚起するなど、特殊詐欺被害対策の充実に努めた。</p>	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロールの支援 ・メール配信サービスを活用した防犯情報の提供 ・詐欺被害防止のため自動通話録音機貸与 ・府中防犯協会に対し補助金を交付 ・ちゅうバスラッピングによる詐欺被害防止の広報啓発 ・日めくりカレンダーを活用した特殊詐欺被害防止対策 	<p>地域安全パトロールを行う自治会等を継続して支援するとともに、メール配信サービスを活用し、適切な防犯情報の提供を行う。</p> <p>特殊詐欺対策に関しては、引き続き府中警察署と連携し、自動通話録音機を貸与する。また、詐欺の手口や対策が掲載された日めくりカレンダーを配布するとともに、市関連施設において、被害状況や手口などの情報をタイムリーに提供し、被害防止を呼び掛けるなど、状況に応じた対策を講じていく。</p>

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロールの支援 ・メール配信サービスを活用した防犯情報の提供 ・詐欺被害防止のため自動通話録音機貸与 ・府中防犯協会に対し補助金を交付 ・ちゅうバスラッピングによる詐欺被害防止の広報啓発 ・日めくりカレンダーを活用した特殊詐欺被害防止対策 	<p>防犯対策として、メール配信サービスによる防犯情報の提供や、自治会等が行う地域安全パトロールを支援するために、防犯グッズを提供した。また、防犯活動を行う府中防犯協会に対し、補助を行った。</p> <p>特殊詐欺対策としては、府中警察署と連携し、自動通話録音機の貸与日めくりカレンダーの配布、ラッピングバスの継続運航、出張で特殊詐欺被害防止イベントを実施するなど、特殊詐欺被害対策の充実に努めた。</p>	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域安全パトロールの支援 ・メール配信サービスを活用した防犯情報の提供 ・詐欺被害防止のため自動通話録音機貸与 ・府中防犯協会に対し補助金を交付 ・ちゅうバスラッピングによる詐欺被害防止の広報啓発 ・日めくりカレンダーを活用した特殊詐欺被害防止対策 ・委託警備員によるけやき並木通りのパトロール 	<p>委託警備員によるけやき並木通りのパトロールの実施、地域安全パトロールを行う自治会等を継続して支援するとともに、メール配信サービスを活用し、適切な防犯情報の提供を行う。特殊詐欺対策に関しては、引き続き府中警察署と連携し、自動通話録音機を貸与する。また、詐欺の手口や対策が掲載された日めくりカレンダーを配布するとともに、市関連施設において、被害状況や手口などの情報をタイムリーに提供し、被害防止を呼び掛けるなど、状況に応じた対策を講じていく。</p>

R 6年度における事業の位置付け	事業の位置付けの詳細と今後の方向性																
<p>A 重点化・拡大して継続</p> <p>B 現状のまま継続</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50px;">1</td> <td>大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> </table> <p>C 見直して継続</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50px;">1</td> <td>見直し・縮小</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>他事業との整理・統合</td> </tr> </table> <p>D 休止・廃止等</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50px;">1</td> <td>休止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>廃止</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>完了</td> </tr> </table>	1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	3	現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)	1	見直し・縮小	2	他事業との整理・統合	1	休止	2	廃止	3	完了	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>○様々な取り組みを行ったが、特殊詐欺に関して、被害の増加がみられたため、現在行っている取組を継続しつつ、新たな施策やこれまでの施策に工夫を凝らし、より効率的で効果のある方法を検討、実施していく。</p> <p>○将来の防犯カメラ更新に向けては、管理運営団体の動向に注意を払い、適切なアドバイスをを行い、治安維持に障が生じないようにスムーズな計画の実行を支援していく。</p> <p>○自主防犯活動の支援については、防犯ボランティア単位、自治会単位という枠を超え、学校等とも連携し、地域全体で活動が行われるよう関係団体等に働きかけを実施していく。</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">1</p>
1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)																
2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)																
3	現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)																
1	見直し・縮小																
2	他事業との整理・統合																
1	休止																
2	廃止																
3	完了																

6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	45	0198000	防犯普及費	1,119,000	1,101,800	2,158,000
2	01	10	05	45	0198100	自動通話録音機貸与事業費	1,463,000	1,286,604	1,463,000
3	01	10	05	45	0202000	補助金 防犯運動事業費	1,437,000	1,437,000	1,437,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							4,019,000	3,825,404	5,058,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	防犯灯維持管理事業				事務事業コード	20310200
概要	市内防犯灯設備の整備及び維持管理					
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	都市整備部 道路課	
	施策	31	地域安全の推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～	
見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり					
根拠法令等						
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	市内全域の防犯灯					
事業目標	防犯灯の設置や適切な維持管理により、犯罪のない明るいまちづくりを推進する。					
事業内容	民間活力を活用したE S C O事業により、修理等の維持管理を行う。また、市民要望による新たな防犯灯の設置や開発行為等により民間事業者等が設置した防犯灯の維持管理についてもE S C O事業で行う。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)							
① ※数値の比較や推移で評価することがないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8
	-	実績	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の種類(※)							
		計画値					1	2	3	4	5	6	7	8
		実績					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容							要因の種類(※)							

- (※) 要因の種類
- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	66,308,000	62,820,000	84,728,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	32,000,000	0	0	0
一般財源	66,308,000	62,820,000	52,728,000	0	0	0
予算現額	66,308,000	79,552,000	0	0	0	0
決算額	59,538,098	76,296,985	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	59,538,098	76,296,985	0	0	0	0
執行率	89.8%	95.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.57	0.39				
職員人件費	4,457,735	3,110,847				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	364,016	236,525				
総コスト	64,359,849	79,644,357	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
新設防犯灯について、LED灯を採用した。 E S C O事業による維持管理を進めた。 ▼防犯灯数 10,403灯、修理件数 27件 ▼新設 20件、建替 6件	E S C O事業による防犯灯の適切な維持管理を行った。	


 A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
新設防犯灯について、LED灯を設置する。 E S C O事業による維持管理を進める。	E S C O事業による防犯灯の適切な維持管理を行う。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
新設防犯灯について、LED灯を採用した。 E S C O事業による維持管理を進めた。 ▼防犯灯数 10,430灯、修理件数 防犯灯34件 ▼新設 13件、建替 8件	E S C O事業による防犯灯の適切な維持管理を行った。	


 A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
新設防犯灯について、LED灯を設置する。 E S C O事業による維持管理を進める。	E S C O事業による防犯灯の適切な維持管理を行う。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性
A 重点化・拡大して継続	B	E S C O事業による防犯灯の適切な維持管理を行う。 今後は、E S C O事業における維持管理について、事業者との調整により適切な維持管理に努め、E S C O事業の評価や課題を検証し、委託契約完了後の施設整備と維持管理のあり方を検討する。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載) 2 見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載) 3 現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)		
C 見直して継続	1	
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

6 構成事業一覧

(単位:円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	05	0062150	防犯灯電気料金延滞利息賠償金	0	2,551	
2	01	10	05	45	0200000	防犯灯管理費 光熱水費	25,931,000	39,406,110	47,839,000
3	01	10	05	45	0201000	補助金 防犯灯電気料	1,863,000	1,862,784	1,863,000
4	01	10	05	45	0205900	防犯灯LED化整備等事業費 設置等委託費(債務負担行為解消分)	35,026,000	35,025,540	35,026,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							62,820,000	76,296,985	84,728,000

事務事業評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 事務事業の概要

事務事業名	安全安心まちづくり推進事業				事務事業コード	20310300
概要	安全・安心まちづくり推進地区、各商店会の防犯カメラ管理責任者に補助金を交付する。					
総合計画	基本施策	4	交通安全・地域安全の推進	主担当部課名	生活環境部 地域安全対策課	
	施策	31	地域安全の推進	事業類型	任意事業	
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	平成17年度～	
見直しの裁量	市に事業を見直す裁量はない					
根拠法令等	府中市防犯カメラ整備事業補助金交付要綱					
国土強靱化地域計画	該当なし	交付金・補助金等の申請	該当なし	交付金・補助金等の名称		
対象	安全・安心まちづくり推進地区内の商店街、自治会及び市内商店会					
事業目標	防犯カメラを整備することにより、犯罪の発生を抑制し、市民の安全を確保する。					
事業内容	府中市防犯カメラ整備事業補助金交付要綱に基づき、安全安心まちづくり推進地区及び市内商店会に対して防犯カメラの設置費、維持管理費を補助する。					

2 実施計画・実績(指標)

指標名	基準値 (単位)	事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		要因の類型(※)								
① 防犯カメラを設置する団体、商店会の数	15	計画値	16	17	18	19	19	1	2	3	4	5	6	7	8
	数	実績	15	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容	新設ではないものの、1商店会の既存の防犯カメラの耐用年数経過によるカメラの更新に対して助成を行った。														
		計画値						要因の類型(※)							
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容															

(※) 要因の類型

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

3 成果(参考情報) 現状分析

	1	2	3	
① 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
② 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1
③ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(事業費)						
当初予算額	4,430,000	4,270,000	3,270,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	1,089,000	1,077,000	1,097,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,341,000	3,193,000	2,173,000	0	0	0
予算現額	4,430,000	4,270,000	0	0	0	0
決算額	482,245	1,851,770	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	76,000	787,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	406,245	1,064,770	0	0	0	0
執行率	10.9%	43.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.84	0.84				
職員人件費	6,610,618	6,749,427				
月額制会計年度任用職員数	0	0				
月額制会計年度任用職員人件費	0	0				
(間接経費)						
間接経費	115,463	132,729				
総コスト	7,208,326	8,733,926	0	0	0	0

5 PDCAサイクルの確認と評価・改善の方針

R 3年度実績 (Do)	R 3年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
安全・安心まちづくり推進地区において、防犯カメラの維持管理に係る費用を全額補助した。 商店街において、各商店会へ防犯カメラの維持管理に係る費用を全額補助した。	防犯カメラは犯罪の発生抑制や、犯罪が発生した場合の解決に大きく寄与することができる。新規設置はなかったが、既設のカメラには適切な維持管理の支援を行うことができている。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 3年度評価に基づく見直し (Action)

R 4年度の具体的な取組 (Plan)	R 4年度の方向性 (Plan)
安全・安心まちづくり推進地区において ・防犯カメラを維持管理する事業の補助を行う。 商店街において ・防犯カメラを設置する事業の補助を行う。 ・防犯カメラを維持管理する事業の補助を行う。	引き続き補助金を活用した防犯カメラの設置を促していく。 安全・安心まちづくり推進地区及び防犯カメラを設置している商店会についても、維持管理費を補助することで、適正な管理を支援していく。

R 4年度実績 (Do)	R 4年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
カメラの耐用年数が経過した1商店会に対し補助し、新しい防犯カメラに架け替えを行うことで、引き続き安全安心なまちとなるよう努めた。 安全・安心まちづくり推進地区において、防犯カメラの維持管理に係る費用を全額補助した。 商店街において、各商店会へ防犯カメラの維持管理に係る費用を全額補助した。	防犯カメラは犯罪の発生抑制や、犯罪が発生した場合の解決に大きく寄与することができることから、適正な維持管理に努めている。また、既存の防犯カメラの更新だけではなく、現在設置していない商店会への周知が必要。	



A 重点化・拡大 B 現状のまま継続 C 見直し D 休止・廃止 R 4年度評価に基づく見直し (Action)

R 5年度の具体的な取組 (Plan)	R 5年度の方向性 (Plan)
安全・安心まちづくり推進地区において ・防犯カメラを維持管理する事業の補助を行う。 ・将来的な架け替えに向けた検討を行う。 商店街において ・防犯カメラを設置する事業の補助を行う。 ・防犯カメラを維持管理する事業の補助を行う。	引き続き補助金を活用した防犯カメラの設置を促していく。 安全・安心まちづくり推進地区及び防犯カメラを設置している商店会についても、維持管理費を補助することで、適正な管理を支援していく。また、将来的なカメラの架け替えに関してもあらかじめ想定しておく必要がある。

R 6年度における事業の位置付け		事業の位置付けの詳細と今後の方向性					
A 重点化・拡大して継続		B					
B 現状のまま継続							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)</td> </tr> </table>			1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)	2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)	3
1	大幅な見直しは必要ない (右欄に理由を具体的に記載)						
2	見直しには法令等の改正が必須 (右欄に法令等の名称を記載)						
3	現状では見直しが不可能 (右欄に理由を具体的に記載)						
C 見直して継続	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>見直し・縮小</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>他事業との整理・統合</td> </tr> </table>	1	見直し・縮小	2	他事業との整理・統合	2	
1	見直し・縮小						
2	他事業との整理・統合						
D 休止・廃止等	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>休止</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>廃止</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>完了</td> </tr> </table>	1	休止	2	廃止	3	完了
1	休止						
2	廃止						
3	完了						

6 構成事業一覧

(単位:円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	R 4年度		R 5年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	10	05	45	0203000	補助金 防犯カメラ整備等事業費	250,000	166,529	250,000
2	01	10	05	45	0203100	補助金 商店街等防犯カメラ整備等事業費	4,020,000	1,685,241	3,020,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							4,270,000	1,851,770	3,270,000